



ウガンダのムベンデ県にてレモングラスの栽培拡大と環境教育による環境保全事業

活動 3.6 ブリケット炭生産事業の立ち上げ

日時と場所

No	日時	場所
1	2019年3月25日、28日	ルサリラ (SORAK エッセンシャルオイル生産スペース)

導入

エッセンシャルオイル抽出後にレモングラスの廃棄物が残ってしまう事を受け、SORAK はブリケット炭（生ごみ等の有機廃棄物から製造される炭）の生産を開始した。また、ブリケット炭の生産を行う事で SORAK が活動する地域の廃棄物（穀物）を管理する事も可能になった。現在、都市部では薪を無料で手に入れる事ができなくなっているため、ホテルや学校、都市部の住民やトレードセンターにブリケット炭を販売する。また、ブリケット炭の販売を通して SORAK が利益を得る事によって、本活動の持続性を確保できる。

トレーニング/活動の目的

キバリンガ準郡にあるブリケット炭生産チームの SORAK メンバーと7名の若者に、生産技術のトレーニングを実施する。また、エッセンシャルオイル抽出後のレモングラスや、トウモロコシの茎などの家庭ごみ（有機廃棄物）を活用する事も目的とする。このブリケット炭は、従来の木炭や薪の代わりに調理用の燃料として使えるので、木炭のための森林伐採が減り、森林保護に繋がる。

参加者

場所		男性	女性	合計
ルサリラ (SORAK エッセンシャルオイル生産スペース)	SORAK メンバー	7名	2名	16名
	青少年	3名	4名	

ファシリテーター

本活動は、Global Bio Energy (GBE)¹から派遣された下記コンサルタントが主導となり実施した。

1. ジジ・ハーリングトン マーケティングのアドバイザー/トレーナー
2. イノス・ツムウェシゲ 生産マネージャー

¹ Global Bio Energy (GBE)はカンパラを拠点とするソーシャルビジネス。地位住民の生活環境向上を目指して、革新的で持続可能な方法をもってグリーンエネルギーを推進する。

<https://greenbioenergy.org/>

活動内容

ブリケット炭生産事業立ち上げに向けて、下記の活動を実施した。

1. フィジビリティスタディ（プロジェクトの実現可能性を事前に調査・検討）を行った。
GBE のチームがムベンデのコミュニティを訪問しブリケット炭生産に必要な材料が手に入るか調査した。また、ホテルやレストランに出向いて、ブリケット炭をどのように使えるか、そして将来的にブリケット炭を購入する意図があるか、調査した。
2. 首都カンパラで GBE がつくったブリケット炭生産の機械をムベンデへ輸送し、設営。
3. 柱、釘、金網、日よけシート等の建材の調達。
4. 日よけスペース（小屋）の組み立て。
5. ブリケット炭の乾燥場の組み立て。
6. 生産機械の設営と、試験運用。
7. ブリケット炭の販売とマーケティングについてのスタッフトレーニング。



GBE 事務所でブリケット炭生産の機械を輸送車に積み込む。



レモンオイル工場近くに、乾燥場の建設地を準備。



乾燥機の組み立て。



ブリケット炭乾燥場の組み立て。



機械のセッティング。



ジジ・ハーリングトン氏がブリケット炭販売のトレーニングを実施。

成果

1. ブリケット炭の生産・事業に関するトレーニングマニュアルを入手した。
2. ブリケット炭の生産と、コミュニティや他消費者へ販売活動を行う機会を若者に与えた。
3. 今までは捨てるか焼却していた穀物の廃棄物を **SORAK** が買い取る事で、農家は収入を得られるようになった。
4. 従来の木炭、薪の代わりにブリケット炭を使う家庭が増えれば、木々の伐採が減り、森林保護に繋がる。

主な課題

1. 買い取り前に穀物の廃棄物を分解させ、堆肥を加えるのに手間がかかるため、農家の中には、ゴミを **SORAK** に提供する事を嫌がる者もいる。
2. 雨期にはブリケット炭をしっかりと乾燥させるのが難しい。
3. 従来の木炭の方が良い燃料だと思っているため、ブリケット炭によい反応を示さない住民がいる。

提案

1. 本事業の実現可能性を確保するために、ブリケット炭の販売を強化する事。
2. ブリケット炭を燃料として使った方が経済的で環境にも優しいという事をコミュニティに周知徹底する。村やコミュニティでミーティングを開き、ラジオメッセージを流す等の活動を実施する。
3. **SORAK** は、新たな収入源となるようにブリケット炭生産事業を開始した。販売先の候補としてはホテル、学校、町の住民そしてトレーディングセンターが考えられるが、**SORAK** はマーケティング活動をより充実させることが必要である。

結論

トウモロコシの収穫と乾燥が完了するまで待ったのでプロジェクト開始まで時間がかかってしまったが、本活動は総じて良い結果をもたらした。ブリケット炭を生産する事で、穀物のゴミを焼却するのではなく再利用する事ができ、また従来の木炭や薪の代わりにブリケット炭を使う事で森林保護に繋がる事が期待される。